



Annual Report
2025-2026



2025
-2026

CONTENTS

01 BOARD MESSAGE

温かいご支援を力に。新体制で踏み出す次の一歩

02 VISION & MISSION

私たちの目指す社会

04 FEATURE

なぜ、彼女たちは「風俗」を選ぶのか

06 DATA

データで見る相談 2025年統計

07 VOICES

「相談できない」を変え、
当たり前を受け入れられる社会へ

08 SAFE SPACE

「わたしたちの60分フリー」活動報告

10 DIGITAL OUTREACH

X (@futeras) で当事者向け発信を強化

11 TRAINING & ADVOCACY

社会への啓発・発信と現場の声を還元する

12 FINANCIAL REPORT

財務会計報告

13 OUR TEAM

支援の現場をつくる人たち/新しい視点が、
活動を前へ進める

15 YEAR HIGHLIGHTS

2025年度 主な活動年表

16 SUPPORT US

一人でも多くの方に安心と選択肢を届けるために

温かいご支援を力に。 新体制で踏み出す次の一步



理事長
徳田 玲亜

いつも風テラスの活動を温かく見守り、応援してくださっている皆様に、心より御礼申し上げます。

私たちが相談支援を届けている性風俗業界や夜の街で働く方々は、依然として自己責任論や強い社会的偏見に晒されています。この1年も、多重債務、店舗トラブル、メンタルヘルスの悪化、そして孤立といった複合的な課題を抱えた方々からの声が途切れることなく届き続けました。生活に困窮していても、「自分が悪いから」「助けを求めるのが怖い」と声を上げられず、公的な支援から取り残されてしまう構造はいまだ根強く残っています。

こうした中、風テラスは昨年8名の新たなメンバーを団体に迎え、これまで以上に多職多様な専門家でチームを構成し、協働しながら、一人ひとりの声に耳を傾けてまいりました。同時に、当事者の孤立解消に向けて、これまでは月1回であった当事者向けサポートグループの開催を月2回の定期開催としました。それだけではなく、前述した社会構造変革のため、昨年は主に行政職員向けの講演や研修を行ったほか、大学での講義やイベントも行いました。

この1年間で寄せられた数多くの相談は、単なる数字ではなく、生存をかけた切実なSOSです。私たちはただ相談を受けるだけでなく、風俗店待機部屋でのアウトリーチとネット上でのデジタルアウトリーチを併用し、支援が届きにくい場所へ支援を届けながら、どうすれば安心できる「居場所」や「つながり」を作ることができるのか、その方策を考え、試行錯誤を繰り返してきました。世間では、風営法改正に引き続き、売春防止法改正の議論がなされており、夜の世界に対する視線は厳しいものを感じていますが、どのような背景を持った人であっても、困った時には当然のように助けを求められるべきです。偏見や制度の隙間に落ち込んでしまった人々を「誰も取りこぼさない」社会をつくること。それが私たちの変わらない使命です。

夜の世界に生きる人たちも信頼できるつながりを持てる社会を作るために風テラスはこれからも現場に立ち続け、必要な声を発信しながら、夜の世界と昼の世界をつなぐ役割を果たしていきたいと思います。今後とも、私たちの活動に変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



事務局長
吉田 友里香

はじめまして。2025年1月より事務局長に就任いたしました、吉田です。

この1年半、風テラスは休眠預金事業への採択を機にメンバーが約30名へと倍増し、まさに「組織で動く第2フェーズ」へ突入しました。合宿や研修を通じ、団体の核となる想いを全員で共有できたことで、新しい仲間とも同じ方向を向いて進み始めています。その結果、2026年度は相談事業に加え、家族会や研究、イベント企画など多くの新プロジェクトが始動する準備が整いました。本業を持つ多忙なメンバーや専門職が多い中、プロボノ(ボランティア)の力も借りながら、自律的で効率的な組織へと日々成長を遂げています。

こうした事業を作る対話の中で見えてきた私たちの使命は、社会構造から「夜の世界」をフラットに理解するきっかけを作ることです。対外的な発信を増やす中で、行政や企業の方々が課題を我が事として捉え、動いてくださる瞬間を何度も目撃しました。

事務局長として、既存の枠にとらわれないアプローチでこの「きっかけ」を広げていくことに、今とてもワクワクしています。寄付者の皆様、ぜひこれからも風テラスと社会の変化を一緒に目撃してください。

私たちの目指す社会

VISION

だれもが「今日の安心」と 「明日の選択肢」を得られる社会

私たちが目指すのは、職業や生まれ育ちに関係なく、誰もが困ったときに相談でき、助けを求められる社会です。性風俗で働く人も、そうでない人も、同じように悩みを打ち明けられる。手を差し伸べる人がいて、差し伸べられた手を素直に握れる。今を安心して生きられるからこそ、未来への一歩も踏み出せる。そんな当たり前の温かさがある関係性を、私たちの活動を通して実現し、その必要性を広く社会に伝えていきます。

MISSION

夜の世界で生きる人の 「今」を受け止め、「次」につなげる

性風俗の世界で働く人々は、仕事の悩みや経済的な不安、健康上の問題といった困難を抱えたとき、「自己責任」や「そんな危ない仕事をするから」と周囲から非難されることを恐れている方もいます。そのため、家族や友人、あるいは専門機関にも頼ることができず、誰にも相談できないまま孤立を深めていく悪循環が存在します。風テラスは、誰もが当たり前に持っているはずの「安心して相談できる・話せるつながり」を、夜の世界で生きる人たちにも届けるために活動を続けています。



風テラスの4事業

風テラスでは、当事者の「今」に寄り添い、孤立を防ぐための4つのアプローチ（相談・居場所・啓発・コンテンツ制作）を展開しています。

相談事業

性風俗で働く人々が、職業を気にせず安心して話せる相談窓口を設置しています。相談方法は、SNS、電話相談、対面相談を実施しており、生活上の悩み、法律問題、福祉の利用などについて、専門家が寄り添いながら具体的な解決への道筋をともに考えます。

居場所事業

風俗従事者の孤立を防ぐため、同じ境遇や経験を持つ当事者同士が、ありのままの自分でいられる安心・安全な居場所「わたしたちの60分フリー」を定期的を開催しています。日頃の悩みやちょっとした出来事を安心して語り合い、「私は一人じゃない」と思ってもらえるような居場所作りを行っています。

研修・講演

性風俗で働く人々が抱える生きづらさや現状を理解してもらうため、当事者のリアルな声を伝える活動を行っています。行政機関や専門職に向けて「夜の世界で働く女性の支援」などをテーマにした研修・講演を通じ、社会全体の理解と支援の輪を広げています。

コンテンツ制作

制度や法律、福祉の仕組みといった難しくなりがちな情報を、漫画や図を交えて視覚的にわかりやすく発信しています。現場の多様な困りごとに寄り添い、当事者が「今本当に必要としている情報」をわかりやすく受け取れるコンテンツを制作・発信しています。



なぜ、彼女たちは「風俗」を選ぶのか

「これしかない」と彼女たちが考える理由

風俗で働く女性、孤立困窮する女性——この問題は、決して遠い世界の話ではありません。

2025年現在、日本国内では約40万人が性風俗店で働いていると推計されています。これは、日本の女性就業者（3,124万人）の1%以上を占め、女性の小学校教員（約26万人）や女性美容師（約27万人）といった身近な職業と比べても、決して少なくない数です。

しかし、その多くが派遣型のデリバリーヘルスなどで働いているため、彼女たちの姿や直面する課題は、社会から「見えづらく」なっています。

風俗で働くきっかけは、経済的な困窮が大きな理由であることも多いです。

しかし、お金に困った誰もがこの仕事を選ぶわけではありません。そこには、本人にとって「これしかない」と考えざるを得なかった、差し迫った事情が存在します。

ともさん（仮名・40代）

高校生の長男と、介護が必要な母親と暮らす、ともさん。母親の介護のためフルタイムでは働けず、子どもの学費と生活費を稼ぐため、短時間で高収入を得られるデリヘルで家計を支えています。

「私が出勤しないと、この子を進学させられない」。心身ともに限界を感じながらも、誰にも相談できずにいます。

あやかさん（仮名・20代）

虐待が原因で複雑性PTSDなどを患い、大学進学に際して親からの援助は望めませんでした。

しかし親の収入が高いために奨学金は借りられず、大学院までの学費と生活費を、個人売春で賄うしかありませんでした。

ともさん、あやかさんのように、その背景には、離婚、DV、親の介護、虐待経験、精神疾患、発達障害など、複数の困難が複雑に絡み合っているケースが少なくありません。こうした困難を抱える女性たちが直面するのは、日本の女性の平均賃金は男性の約7割に留まるという社会構造。年齢を重ねても収入が上がりにくい現実があります。

そのような中で、「学歴・職歴不問」「自由出勤」「即金性」といった性風俗の条件は、経済的に困窮した学生、シングルマザー、障害や疾病により正規雇用が難しい人々にとって、最後のセーフティネットのように見えてしまうのです。

孤立が生み出す、負のスパイラル

「楽しんで高収入」ではない

短期で高収入が得られると思われがちの世界ですが、きらびやかな生活を送れるのはごく一部です。多くは景気や客足に左右され、絶えず集客努力が求められる厳しい環境にあります。働き始めたことで家族や友人と疎遠になり、キャスト同士はライバル。心身ともに孤立しやすい中で、深刻なリスクに直面することもあります。

ケース1：法外な罰金

初めて入ったお店が怖くて、即日辞めたいと伝えたら『予約キャンセルによる損害が出た』と高額な罰金を請求された。生活のために働こうとしたのに、罰金返済のために借金することになった。



ケース2：望まない妊娠

お客様との行為で妊娠。相手に伝えても『自分の子か分からない』と連絡が取れなくなった。禁止されている行為だったので、お店にも警察にも相談できなかった。



ケース3：ネットでの誹謗中傷

ネット掲示板に容姿を中傷されたり、本名を暴露すると脅されたりしている。誰が書いたか分からず接客が怖い。警察に行っても『そんな仕事は辞めなさい』と説教されそうで、誰にも相談できない。

誰もが「助けて」と言える社会のために

私たち風テラスは、性風俗で働く方が、仕事のことを隠さずに安心して相談できる場を提供しています。相談者から寄せられる、お金の問題、お店とのトラブル、そのような「困った」に耳を傾けていると、なぜお金が必要なのか、なぜ風俗で働いているのか、それぞれの理由、歩んできた道のりが垣間見えることが多いです。

だからこそ、相談者の現状を否定せず、その気持ちに寄り添い、信頼関係を築くことや、「こんなことを相談してもいいのだろうか」という不安を取り除き、本人が「助けて」と言える力をつけていくことを大切にしています。

いつも相談の中で、こう問いかけます。

「あなたはどうしたいですか？」

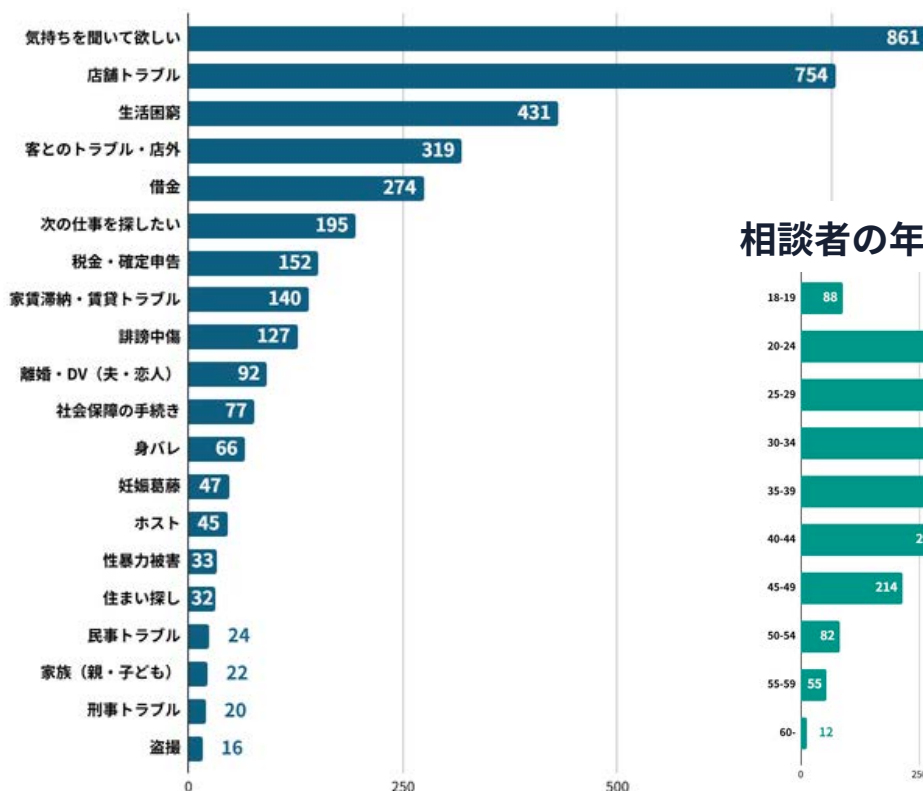
目の前の困難を必死に乗り越えてきた人々に、これからは「自分はどうしたいか」を考えてもらいたいと願っています。

データで見る相談 2025年統計

風テラスの活動の原点であり、最も重要な柱である相談事業。2025年も、LINEやメール、また対面による相談を通じて、のべ4,209件もの相談が私たちのもとへ寄せられました。

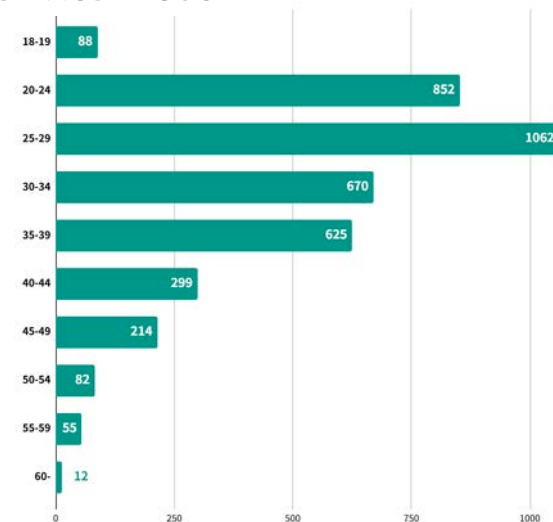
ご相談の内容は、「仕事や生活の困窮」「店舗とのトラブル」といった切実なものから、「誰にも頼れない」という深い孤独感、あるいは心身の不調や将来への不安まで、多岐にわたります。私たちの支援は、単なる解決策の提示にとどまりません。安心して話せる環境を提供し、一人ひとりの状況に寄り添った伴走的なサポートを通じて、相談者自身が課題と向き合い、より自分らしい歩みを進められるよう取り組んでいます。

相談の内訳

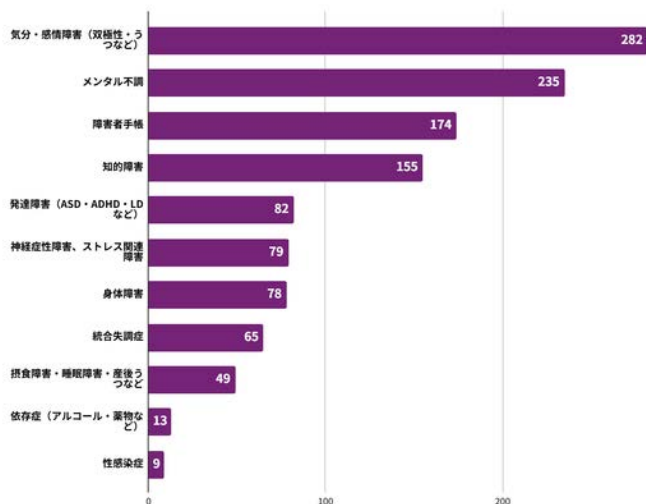


年間のべ相談件数
4,209
件

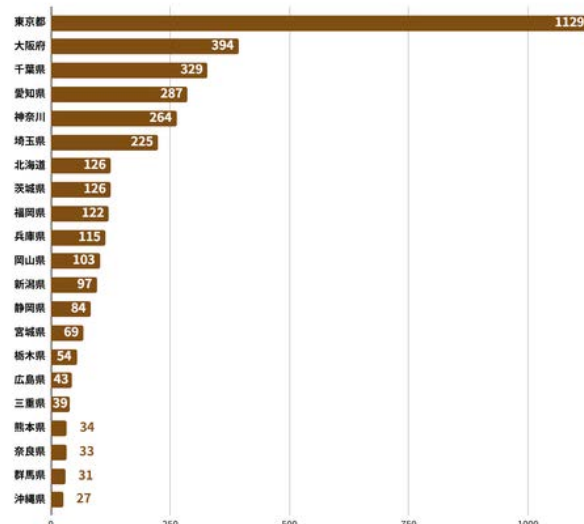
相談者の年齢



病気・障害（自己申告）



相談者の住まい



※2024年の統計は1日に対応した方を件数で積算しています。そのためやりとりが継続する方は1日毎に1件とした数字になります。

「相談できない」を変え、 当たり前を受け入れられる社会へ

対面による相談会・風俗の待機部屋での相談会を再開！

風テラスの原点である、対面による相談会。3月に実施したクラウドファンディングの成果として、2025年8月から対面による相談会を都内で再開しました！

相談会では、弁護士とソーシャルワーカーがペアとなって、生活・法律両面の相談を受けています。相談者の表情や仕草など、対面だからこそ感じ取れる空気感を通して、より深く相談者の主訴を知ることが可能になります。相談後にはほっとした表情で「話せてよかった」「気持ちが整理できた」といった声も聞かれ、対面の場を持つことの重要性を再認識しています。

また、風俗店の一部スペースをお借りし、その店舗に在籍する方のための相談会も12月に再開しました！風テラスの原点である「待機部屋」での相談会。お客様が来るまでの間、女性が過ごす部屋を訪れ、彼女たちの悩みに耳を傾けるアウトリーチ活動です。



休眠預金事業 1年目の取り組み

～性風俗で働く女性の相談事業におけるゲートキーパー育成・アウトリーチ支援～

風テラスは2025年5月、「自殺ハイリスク領域におけるゲートキーパー育成&アウトリーチ支援事業(3年間)」に採択され、2026年3月までを準備期間として取り組みを進めてきました。

1年目は、困りごとを抱えながらも相談につなぐにくい方へ、Google検索連動広告を活用したデジタルアウトリーチと、SNS相談の準備を行いました。また、相談の中で表れる「死にたい気持ち」や孤独・孤立のサインを早期に捉え、相談員が一人で抱え込まず対応できるよう、相談記録・アンケート・研修・事例検討の体制づくりを進めました。借金などの生活課題と希死念慮の関係や、相談による気持ちの変化が見える形にするため、今後の効果検証に向けた基盤整備にも取り組みました。

一連の取り組みを生かし、団体全体でより質の高い支援を提供できるよう、今後も活動を続けていきます。



「わたしたちの60分フリー」 活動報告

わたしたちの60分フリーは、風俗業界での勤務経験を持つ方や、現在働いている方が、日頃抱えている悩みやモヤモヤを安心して共有できる「喋り場」です。名称には「自分のために60分を大切に使ってほしい」という、参加される方への願いが込められています。お互いの話を聞き合い、それぞれの想いを大切にする場を目指しています。参加者同士がそれぞれの想いを分かち合う場面に立ち会うことも多く、同じ経験を持つ人同士の繋がりの大切さと、この活動の意義を改めて実感しています。

開催概要

開催頻度

月1～2回

開催場所

LINE meeting（オンライン）

対象者

誰かに聞いてほしい、一人では抱えきれないモヤモヤを現在進行形で抱えている風俗従事経験者

参加者の属性

相談歴のある20代～50代の風俗従事経験者

広報

LINE、当事者向けX、HP、Instagram



60分フリーの流れ

ルール説明

安心して過ごせる場作りのための
グランドルール共有

アイスブレイク

緊張をほぐすトーク
例：「春といえば」
「今日何してた？」

一人ずつの語り

テーマについて
自由に発言

スタッフの思い・質問

参加者の語りを
受け止めた
フィードバック

大切にしているルール

「言いつばなし、聞きっぱなし」

批判やアドバイスをせず、ただ受け止めることで、誰もが安心して話せる安全性を守ります。

2025年度 活動実績

開催回数

20回

1年間で100名を超える申し込みをいただき、当事者にとってこのような「安心して本音を話せる場」の必要性が高いことを実感しました。



参加者の声

「風俗勤務であることが前提で話ができるので、説明の手間がなく居心地がよかった」

モヤモヤをただ聞いてもらえるだけで、心が軽くなり嬉しかった。

他の人には絶対に言えないことも、ここなら安心して言える。

「みんな働きながら、自分なりの楽しみを見つけてなんとかやっているんだなと知れて励まされた」

2026年度に向けて

2025年度の温かい繋がりと成果をベースに、2026年度はさらに居心地の良い居場所作りを目指し、以下の取り組みを検討・実施していきます。

○対面での開催実施

これまでのオンライン開催に加え、2026年度は実際にお会いしてお話しできる対面での「わたしたちの60分フリー」を開催し、より深い安心感を提供できる場を作ります。

○開催回数の増加検討

必要としてくださる多くの方の声に応えるため、開催頻度を増やす方向で調整を進めます。

○テーマ別の回の開催

これまでの「今心の中にある思い」を語り合う場と併せて、今後は「テーマ別の回」の開催も視野に入れています。同じ具体的な関心や悩みを持つ方同士が集まることで、より安心して自身の想いを分かち合える場を広げていく予定です。

○参加される方に寄り添った運営

今後も参加してくださる方々のご意見や想いに真摯に耳を傾け、より参加しやすく、心がほっと軽くなるような温かい会をスタッフ一同で育ててまいります。

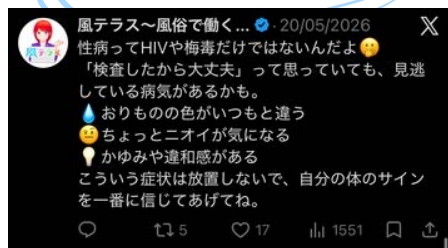
X (@futeras) では当事者の方 向けの発信を強化しています

1

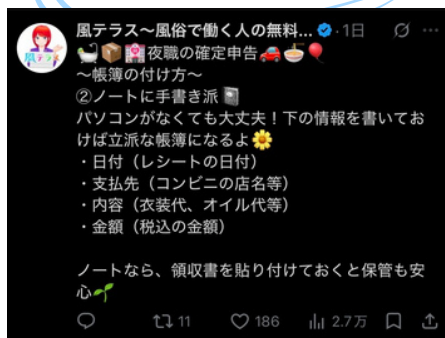
毎日投稿

2025年から、SNSプラットフォームのX（旧Twitter）にて、性風俗で働く当事者の方
向けに毎日投稿を実施しています。当事者の方にとってわかりやすく・必要な情報を
届けることをモットーに、チームで投稿内容を考えています。性病に関する情報発信
や、確定申告などの制度や各種法律に関する情報発信、メンタルヘルスに関する情報
発信、性風俗に関するニュースへの反応など、性風俗で働く上で重要なテーマについ
て幅広く投稿しています。

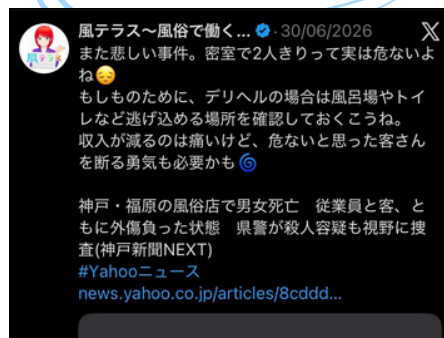
性風俗では身近な 「性病」に関する情報発信



法律や制度（確定申告）に関す る情報発信



SNSの即時性を活かした性風俗 に関するニュースへの反応



現在、「いいね」数や閲覧数が投稿開始時より着実に増えており、手応えを感じています。
今後も毎日投稿を続けながら、当事者の方に親しまれるアカウントを目指します。

2

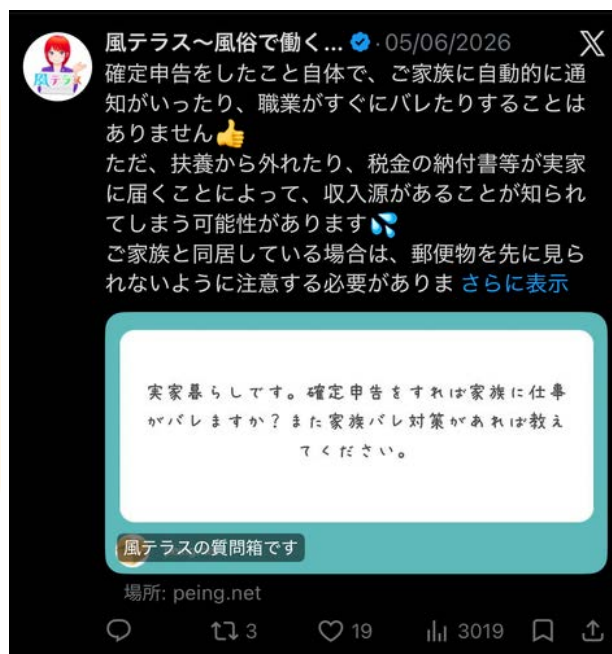
質問箱の設置

完全匿名かつ無料で相談できる
質問箱も設置しました。利用登
録の必要がないので、気軽に質
問をしていただけます。

確定申告のお悩みや、お店とのトラブルな
ど、各種相談が寄せられています。

質問箱は、広報スタッフに加え、弁護士や
SWなど風テラス内の専門スタッフが必要に応
じて回答を考えています。

2026年度は、寄付者向けのXアカウント
や、Instagramなど、さらに各種SNSの発信を
強化していく予定です！



実際に寄せられた確定申告に関する質問

社会への啓発・発信と現場の声を還元する取り組み

性風俗で働く人を取り巻く課題の背景には、依然として社会的な誤解や偏見が存在しています。私たちは、相談を通じて寄せられるリアルな声や不安、葛藤を社会に届け、支援の輪を広げるため、行政、福祉、医療、教育など、多様な分野で講演や研修を行ってきました。

2025年度も引き続き、各専門機関や自治体と連携し、支援現場の最前線で求められる理解の深化に努めました。単なる知識の提供にとどまらず、対話やグループワークを通じて、参加者一人ひとりが自身の持つ価値観や戸惑いを見つめ直し、相談者と向き合う支援のあり方を共に考える場を創出しています。風俗で働くことの是非や評価を脇に置き、まずは目の前の本人の声に耳を傾けること。その大切さを、これからも一人でも多くの方々と共有し、誰もが安心して相談できる社会を目指してまいります。



2025.10

新潟市役所女性相談職員向け研修
(新潟県新潟市)

2026.02

UBSグループ&SVP東京との
共催セッション参加

ながおかワーク&ライフセミナー
登壇 (新潟県長岡市)

2026.03

東京都特別区
女性相談支援員向け研修

その他の連携

新潟県「困難な問題を抱える女性およびDV
被害者支援調整会議」
東京都事業「きみまも」意見交換会
豊島区すずらんネット会議 など



講演・研修のご依頼

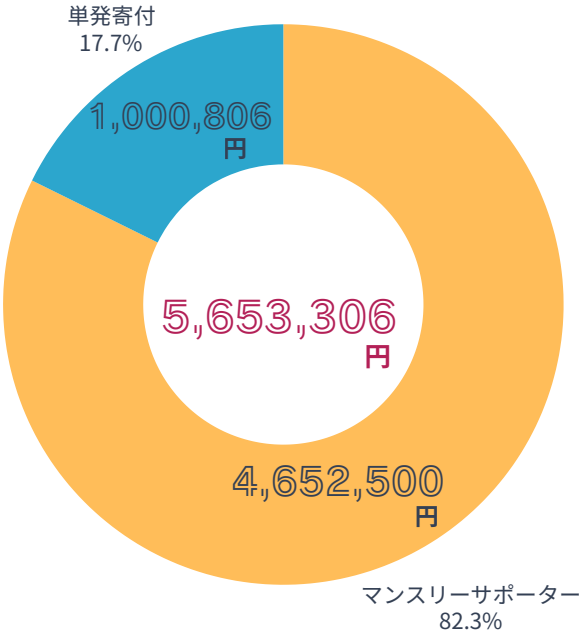
皆さまの抱える課題を踏まえて、講義内容や登壇者を提案しています。性風俗や夜職で働く方の抱える不安や悩み、困難やトラブルを解説し、当事者に寄り添う支援を一緒に考えるグループワーク等の研修プログラムも提供をしています。

お問い合わせは contact@futeras.org、ホームページの「お問い合わせ」よりお願いします。

財務会計報告

科 目			2025年度実績
経常収益		正会員受取会費	160,000
		受取寄附金	5,653,306
		受取助成金	10,349,486
		自主事業収益	325,670
		その他収益	30,567
経常収益計			16,519,029
経常費用	事業費	性風俗で働く人の法律・生活相談事業	12,767,894
		支援者への講座・イベント事業	55,372
	事業費計		12,823,266
	管理費	人件費	2,604,403
		その他経費	1,287,957
	管理費計		3,892,360
経常費用計			16,715,626
当期正味財産増減額			-196,597
前期繰越正味財産額			9,986,328
次期繰越正味財産額			9,789,731

寄附金の内訳



団 体 概 要		
役員	理事長	徳田玲亜（弁護士）
	副理事長	中島満香
	理事	橋本久美子（精神保健福祉士）
	監事	石井桂
アドバイザー		三上早紀（弁護士）
		鈴木愛子（弁護士）
住所		〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1丁目9-1 グランド東邦ビル1F
メンバー構成		事務局スタッフ 2名 相談員スタッフ 15名 プロボノ 12名 計29名

2026年7月現在

支援の現場をつくる人たち

**橋本**

ソーシャルワーカー相談員

私は、女性支援やアディクション（依存症）関連の問題をフィールドに、ソーシャルワーカーとして働いて30年になります。

2015年のことでした。「デリバリーヘルスの待機部屋で、女の子たちの相談にのっているのですが、手伝ってもらえませんか？」と、「風テラス」の立ち上げメンバーの一人から声をかけられたのです。それ以来、私は風テラスで女性たちの声に耳を傾け続けています。

風テラスに寄せられる相談は、私が普段の仕事で関わる女性たちが抱えている困難と、何も変わりはありません。ただ一つ特別なのは、彼女たちが開口一番に「風俗をしているなんて、誰にも言えなくて……」と語り出す、という点だけです。

これからも私は、一人のソーシャルワーカーとして女性たちと関わり続けていくつもりです。同時に、風テラスという相談窓口が、誰でも安心してノックできる場所であり続けられるよう、自分にできることをしていきたいと思っています。

**荒木**

弁護士相談員

はじめまして。弁護士の荒木と申します。風テラスでは相談員を担当しています。普段は東京都立川市の法律事務所で働いており、債務整理や家事事件、消費者問題、刑事事件など、幅広く皆さまのお困りごとを解決するお手伝いをしています。

かねてから女性支援に関心があり、風テラスに参加しました。風テラスでは、対面ではなくオンライン相談がメインとなります。お声だけでも相談しやすいよう、弁護士・社会福祉士がペアとなって、法律的・福祉的に相談に乗ります。少しでもご不安を抱えていらっしゃる方は、ぜひお気軽にお話ししていただけたらと思います。

弁護士の仕事のやりがいは沢山ありますが、相談をすることで依頼者・相談者の方の肩の荷が軽くなり、少しでも元気になっていく姿をみるのが何よりの喜びです。明日からの皆さんが少しでも元気になれるよう、頑張っていきたいと思っています。

**幡野**

弁護士相談員

風テラスで相談員を担当しています、弁護士の幡野と申します。

弱視の視覚障害当事者で、普段は東京都立川市で弁護士をやっています。弁護士として障害者の支援に関する活動をやりたいと考えておりましたが、風テラスで活動していた社会福祉士の方から、風テラスでも障害者からの相談が多いと聞き、活動に参加させていただきました。

風テラスに相談に来る方には、相談すること自体に心理的なハードルを感じている方が多くいらっしゃいますが、風テラスでは弁護士だけではなくソーシャルワーカーの方も一緒に相談を受け、不安を和らげつつ話を聞きますので、とても相談しやすい環境ができているのではないかと思います。

まだ相談に繋がっていない方も多くいらっしゃるかと思います。そういった方の相談も受けられるよう、引き続き頑張っていきたいと思っています。

新しい視点が、活動を前へ進める

**ひかる**

相談員/60分フリー

看護師として働いていましたが、沖縄の夜の世界で働く母を描いた「遠いところ」という映画を見て、全ての人の生活を支えるような仕事がしたいと思い、現在は大学院の保健師コースで勉強しながら風テラスでプロボノとして活動させてもらっています。

風テラスでは、SNSの運営、自助グループ活動(わたしたちの60分フリー)、休眠預金事業に携わっています。「やりたい!」と思ったことに、皆様耳を傾けて背中を押してくださるので、とても楽しく活動しています。夜の世界で働く方々の声を聞き、もっと考えなくてはいけないことがたくさんあるなあと日々感じているので、その方々のためになれるよう、微力ながら頑張っていきたいです。

**半田**

相談員/デジタルアウトリーチ

私が風テラスに加わったきっかけは、デジタルアウトリーチの募集でした。行政機関に勤務していた頃から風テラスの活動を知っており、実際に相談者の方へ紹介することもありました。「あの風テラスで自分も力になれるかもしれない」と胸を躍らせて応募したことを今でも覚えています。

現在は、休眠預金活用事業における相談員として、またデジタルアウトリーチの担当として日々活動に励んでいます。今後は、孤立して相談しにくい環境に置かれている方々へ、「安心して頼れる場所がここにある」というメッセージをいかに届けていくかを模索していきたいです。同時に、風俗従事者の方々がより安心して相談できるよう、彼女たちの実情を一般の方や他の支援機関に正しく知ってもらうための啓発活動にも力を入れていきたいと思っています。

**ずっちゃん**

インターン

8月よりインターンとして活動に参加しております、前田と申します。

大学では社会福祉を専攻しています。以前、風テラスの活動報告会に参加した際に、福祉と司法が連携しながら支援を行っていることを知り、大きな関心を抱きました。その後、関連書籍を読んだり、風俗業界について学ぶ中で、ぜひ自分も活動に関わりたいと考えるようになり、インターンを始めました。

現在は広報と「60分フリー」を担当しています。学生としての視点や自分の得意分野を活かしながら、団体に少しでも貢献したいと思っています。また、この貴重な機会を通じて、団体運営や支援の現場について理解を深め、今後の人生の糧としたいと考えています。

誰もが「今日の安心」と「明日の選択肢」を得られる社会の実現に向け、微力ながら尽力していきたいです。

これからどうぞよろしくお願いいたします。

2025年度は休眠預金事業をきっかけに、新しいメンバーが数多く仲間入りしました。これに伴い相談員の育成プログラムの充実や相談システムの改善、新たなイベントの企画、外部連携の強化等々、新たなステージに向けて着実に準備を進める1年となりました。

今回コメントを寄せてくれたメンバー以外にも、たくさんの人が風テラスで活躍していますので、ぜひご期待ください！

2025年度 風テラス年表

主な活動 年表

2025.04

休眠預金活用事業「自殺ハイリスク領域におけるゲートキーパー育成&アウトリーチ支援事業」に採択。相談員の育成と、孤立・自殺リスクを抱える方へのアウトリーチ強化を開始。

2025.08

東京都豊島区で、約1年ぶりとなる対面相談会を再開。弁護士とソーシャルワーカーが連携し、生活・法律両面の相談に対応。

2025.09

当事者の居場所「わたしたちの60分フリー」を月2回開催へ拡充。参加者の声を反映し、安心して話せる場づくりを継続。

2025.10

公式Xを本格再始動。
Forbes JAPAN 2025年12月号『『ソーシャルR&D』を実装するNPO50』に選出。

2025.12

公益社団法人程ヶ谷基金「令和7年度 男女共同参画・少子化関連研究活動の支援に関する顕彰事業」にて、活動部門・活動賞を受賞。SNS相談事業の継続的な実践と、当事者に寄り添う支援体制が評価された。

2025.12

—

2026.03

風俗店の待機部屋での相談会を再開し、相談窓口へアクセスしにくい方へのアウトリーチを強化。休眠預金活用事業では2年目に向けて、専門職・プロボノ・インターンが連携する支援体制を広げた。

講演・社会発信 年表

2025.07

新潟県「困難な問題を抱える女性およびDV被害者支援調整会議」で活動を紹介。自治体・法務局・警察などの関係者に、夜の世界で働く方が抱える課題と支援の実情を共有した。

2025.10

オンライン活動報告会を開催。理事長と弁護士・ソーシャルワーカーの相談員チームが、相談現場の声や日々の支援について発信した。

2025.11

新潟市役所主催の女性相談に関わる職員向け研修に登壇。夜職に携わる女性が直面する困難や、支援のあり方について伝えた。

2026.2

ながおかワーク&ライフセミナーに、徳田理事長が登壇。「夜職女性の現場から考える女性の貧困とは」をテーマに、夜職に携わる女性が直面する様々な課題についての解説や、風テラスの取り組みの紹介を行った。

2026.3

家族向けオンライン対話イベントを開催。子どもとの関わりに悩む保護者とともに、思春期の子どもとのつながりを考える場をつくった。
一夜限りの「寄付スナック風テラス」開催

自治体職員や支援関係者、一般の方々に向けて、夜の世界で働く方々の困難と支援現場の実情を発信し、理解の促進と関係機関との連携強化に取り組みました。

風テラスでは毎月の活動報告『月刊風テラス』、寄付者様限定記事『別冊風テラス』、をREADYFORにて、またメールマガジン「Futeras Magazine」も配信しております。年表に書ききれなかった内容も盛りだくさんですので、是非チェックしてください！



▲Forbes JAPAN



▲程ヶ谷基金受賞の盾と記念撮影



▲待機部屋での相談会の様子



▲新潟市職員向け研修に登壇



▲ながおかワーク&ライフセミナーに登壇



▲寄付スナック告知サムネイル



月刊風テラス



メルマガ登録

一人でも多くの方に 安心と選択肢を届けるために

皆さんは、日本の風俗業界の経済規模をご存知でしょうか。性風俗産業の市場規模は、推計によって2兆円台から5兆円以上まで幅があります。また、そこで働く女性は30万～40万人ともいわれています。風俗で働く人が、日本に何人いるのか。国も正確には把握していません。けれど、困ったときに相談できず、支援の網からこぼれ落ちる人がいることは、年間4,000件を超える風テラスへの相談が物語っています。

「風俗」と聞いて、皆さんはどんなイメージを持たれますか？きらびやか、派手、お金に困っている…？私たちは、業界や従事者に対する社会の「偏見」はなくせなくても、偏見による「差別」や、彼女たちが孤立する構造はなくせると信じています。世間の無理解や自分の中の後ろめたさから「誰にも相談できない」と抱え込む女性たち。また、複雑な制度や分かりにくい情報、障害特性への配慮不足によって、必要な福祉につながらない人がいます。

私たちは彼女たちのために、本誌で紹介している多様な事業を展開しています。当事者本人に対するサポートの他、周囲の人々が無意識に構えてしまうことで生まれる「相談のしづらさ」を解消し、社会全体の受け皿を広げていく。業界やそこで働く人は確かにそこにある/いる。けれど見えない存在になっている。私たちはそんな「見えない壁」を取り払い、どんな背景や職業でも、孤立せず、困ったときには普通に相談できる社会への変化を目指しています。

理事長は、2015年の活動開始時から弁護士相談員として活動し、現在も多くの方の相談に乗っています。風テラスが2022年にNPO法人化して以来、少しずつですがスタッフを増やししながら、内部研修を実施しつつ規模を拡大し、性風俗業界に特化した相談・支援事業を継続してきました。性風俗の仕事や業界特有の事情を理解した弁護士とソーシャルワーカーが連携し、法律・生活・福祉の課題を一つの窓口で受け止めています。制度の案内だけで終わらず、本人の気持ちと希望を尊重しながら、その人に合った解決への道筋を一緒に考えられることが、風テラスの強みです。

私たちの活動は、多くの温かい「つながり」によって支えられています。現在、約30名のスタッフとボランティアが現場を支えてくれるほか、2024年度のクラウドファンディングでは、248人の支援者から340万円ものご寄付をいただきました。また、継続的に活動を後押ししてくださるマンスリーサポーターは170人に達しています。それでも、年間4000件を超える相談事業や居場所づくり事業を継続していくには資金が不足しています。性風俗で働くことを理由に孤立させない。どんな仕事をしていても、困ったときには安心して相談でき、自分の望む生活を選べる社会をつくっていくために、ぜひ引き続き暖かいご支援をお願いします。皆様のご支援が私たちと従事者だけでなく従事者が社会とつながり直すための確かな架け橋となります。ぜひ、私たちと共に、孤立のない未来を作るネットワークの輪を広げていきましょう。

マンスリーサポーター

毎月定額をご寄付いただくことで、継続的に活動を支援していただけます。

マンスリーサポーターの声

従事していた頃から辞めた現在でも、このような仕事に入らなくていい社会が必要だとかねて思ってきました。現状と将来への希望として寄付をさせていただきました。不安を抱えている心身の健康をお祈りしております。

40代 性風俗従事経験者

一番立場の弱い人たちに寄り添う活動が素晴らしいと思ったからです。

40代 弁護士法曹関係者

以前、生きづらさを抱えた方が性風俗の仕事をし、たくさん抱えながらも相談する相手がなく、子どもの虐待へと繋がっていた、というノンフィクション本を読んだことがあり、貴法人の活動の必要性を感じています。陰ながら応援しています！

40代 福祉関係者

親身になって相談に乗ってくれてありがとうございます😊✨

30代 性風俗従事者

性風俗ユーザーです。ここで働く女性から癒しや元気や幸せをもらっています。一方でこの業界に身を置きながら生活に困窮している女性が多くいることを知りました。お世話になっているこの業界で働く女性たちに少しでも恩返しができたらと思い少額ながら継続寄付させていただいています。

60代

日本にはまだ、男女平等法というものがありません。どの職場も男女別の賃金表を作っています。よほどでない限り普通の女性は経済的にも男性に頼らないとやっていけない仕組みを社会が用意しています。社会のセーフティネットのことすら知らない人も多いです。相談の窓口が皆様のような方々に運営されてここに存在することがとても大切だと思います。

70代 性風俗従事経験者

依存症の方たちの支援をしています。こちらにもたくさん風俗に身を置いている方たちがいて、たくさんの困難を抱えています。だからこそ、風テラスの活動は貴重なものだと思います。頑張ってください。

50代 福祉関係者

単発寄付

まとまった金額でのご支援も歓迎です。
カード決済・銀行振込をご利用いただけます。

ご寄付のご案内ページ



<https://futeras.org/support.html>

直接お振り込みされる場合の口座情報

ご寄付を確認しやすくなるため、お手数でなければメール
(donation@futeras.org)までご一報いただけますと幸いです。

GMOあおぞらネット銀行

支店名 法人営業部(101)
普通預金 1906032
トクヒ) フウテラス

ゆうちょ銀行

店名 一二八 (イチニハチ)
店番 128
普通預金 4342474
トクヒ) フウテラス



特定非営利活動法人

風テラス

東京都豊島区巣鴨一丁目9番1号グランド東邦ビル1F
info@futas.org

WEB : <https://futas.org/support.html>

X (当事者向けサポート) : @futas

X (支援者向け広報) : @futas_kouhou

X (当事者向け情報) : @futas_kyumin

Instagram : @futas_org

Facebook : Fu-terrace

